



皆様の「快適な暮らし」のヒントに すまい造りメール

第156号 2015年3月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成27年2月28日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
http://www.sano-k.net/
info@sano-k.net

省エネ住宅ポイント

省エネ住宅ポイント制度を利用したリフォームについてご説明します。

- ①窓の断熱改修
 - ②外壁、屋根、天井又は床の断熱改修
 - ③設備エコ改修
(太陽熱利用システム、節水型トイレ、高断熱浴槽、高効率給湯器、節湯水栓)
- ①②③の工事に伴うバリアフリー改修などが対象工事となります。

前回の住宅エコポイント制度と大きく異なる点は、設備エコ改修の5種類の工事のうち3種類以上を設置する場合も該当する工事になることです。

ユニットバスやトイレ、給湯器の交換工事を同時期に行えば、場合によってはバリアフリー改修との併用で、合計100,000ポイント以上となり、商品券(1ポイント=1円)に交換することができます。



昭和33年から新築工事やリフォーム工事、住宅設備のメンテナンスを担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回は、浴室と脱衣室のリフォーム工事です。浴室は既存のタイルをはがし、土間を打ち、脱衣室は既存の床・壁・天井を解体し、柱を補強しながら、施工しました。浴室と脱衣室との段差をなくしました。工期は10日間です。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

ユニットバスの内装はシンプルなタイプを選択し、愛着のある脱衣室のガラス戸はそのまま使用しました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピアノ、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



笑門来福

おっぱまワイン寄席がアクションおっぱま主催で、4月24日(金)エルシャンテ追浜にて柳家喬太郎氏をお招きして開催されます。(開演14:00終演15:45)全席自由(150席)で2,000円です。こみゆに亭カフェにて発売されます。



150席 売り切れ御免

第11回 おっぱまワイン寄席

柳家喬太郎

2015年4月24日(金)

エルシャンテ追浜

3月2日 発売開始

主催 NPO法人アクションおっぱま 協賛 鶴の巣舎芸術振興会

皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます

創業 1960.1.20. 創刊 2002.4.1. **Next50**

Oppama 風物詩

追浜周辺で、季節を感じるような自然や風景、イベントをご紹介します。



「貝山のあんず」

横須賀市リサイクルプラザ(アイクル)の北に広がる丘陵地帯の貝山緑地には、現在700本のあんずが植えられています。毎年3月初旬に、ピンク色の花が咲き誇り、あたり一面いい香りに包まれます。秋にはたわわに実がなります。秋まで待てません。

(2008年3月8日撮影)

ほそく だそく 補足&蛇足



省エネ住宅ポイント制度は、3月10日からポイント発行申請の受付が開始されます。平成26年12月27日(閣議決定日)以降に着工された工事が対象となります。ご注意ください。



今年は横須賀製鉄所の鉄入れ式から150年に当たる年で、横須賀市では、さまざまなイベントやシンポジウムが開催されます。あくまでも鉄入れ式から150年で、創設から150年ではありません。

皆様のひつじとなって
お役に立てるように
心掛けます



52年11ヵ月の間、都市政策を中心に横須賀市の発展に寄与され、最後の8年間は2期に亘り、横須賀市助役として活躍された井上吉隆氏に横須賀製鉄所についてお話を伺いました。

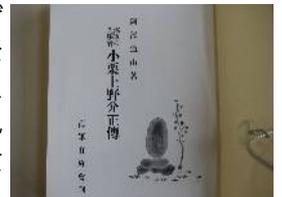
本年は、横須賀製鉄所鍍入れ式から150年を迎えることになり、今までになくこの意義ある年を盛り上げるよう計画が進められている。

横須賀製鉄所・小栗上野介の著作も数多くのもが発行されているものの、日本史の教科書の中には近代産業に横須賀製鉄所が果たした役割、小栗上野介がその建設にどれほどの情熱を傾けたかは、一行の記述さえ見当たらない。

一方、平成25年7月には昭和16年10月15日に発行された海軍の先駆者『小栗上野介正傳』（以下「正傳」と省略）復刻版が発行された。昭和16年に400ページに及ぶ大著であるとともに、「序」には岡田啓介氏・横須賀海軍工廠長 都築伊七海軍中將から序文が寄せられている。本書の冒頭に「慶応4年正月、上野介、江戸駿河臺の居邸を去り、菩提寺たる大宮市大成の普門院に立ち寄り後事を託し、同じく采地群馬県群馬郡権田村に塾居す。同年4月6日岩倉具視配下監軍（今の中尉也と）原保太郎氏に依って斬首の厄に遇った。筆者は幸ひ先年保太郎翁と面談、當時の模様を聞くを得た。」翁曰く「七十餘年前を回顧し一場の夢なり。賊官あるなし、烏川見沼河原に於いて従者三人と共に斬首した。流石、一代の英傑なり。」

この『正傳』の自序で阿部道山氏は「私が、小栗上野介と云う名を覚えたのは18~9歳の小僧時代でありました。それも極めて不明瞭なものでありました。ただ、広い墓場に小栗家一族の沢山の荒蕪にまかせた墓があったと云ふのにすぎませんでした。もう27~8年前のことです。」

「私が29歳の時、大正14年春、この寺に住職をいたしました。それから小栗上野介に関する研究が、ぼつぼつ始まったのでありますから年月から云うとかなり長いこととなります」と記されている。そして、先代の仙崖和尚も小栗家の墓はなんとかしたいと度々総代会が開かれていたが、昭和9年に普門院境内に小栗上野介招魂記念碑が建立され11月25日に除幕式が実施され、『正傳』によれば時の内閣総理大臣、陸、海軍大臣、文部大臣は各代理を派遣し祝辞を述べているとして、特に内閣総理大臣岡田啓介氏のものについては全文を掲載しており、その中で「我が海軍建設の祖と謂ふも過言ではないのであります、其の他わが国民文化発達の為になされた上野介の功績は、誠に顕著なるものであるのに拘らず従来其の名は余り現われなかったのであります（略）」このように内閣総理大臣をして評価されている。また、同書によれば「大正4年9月27日横須賀開港50年記念祭にあたり、時の海軍工廠長、海軍中將黒井悌次郎氏は、この埋もれたる忠誠の人小栗上野介の功績を探索研究の結果、従来世に宣伝せられたる叛逆の跡更になし。朝敵とは何事ぞや。却って国家の大功臣なりとして、工廠創設者としての小栗の功績を顕彰する公文書を発表した。又開港50年を記念するため横須賀の諏訪公園に小栗上野介と軍港の技師長たる仏人ウエルニー氏の銅像を建設することとなった。しかもこの銅像建設基金として畏れ多くも当時の皇后陛下には金一封を御下賜遊ばされたのである。（略）この事は蜷川博士の著にもあるが、私は先年小栗貞夫翁から直接聞いたところである。」と記している。



以上のように昭和16年にこうした評価を得ている小栗上野介、そして日本の産業革命の先導的役割をになった横須賀製鉄所について、日本史の教科書に一行の記載がなされていないのは何故であろうか、不思議ではない。今こそこれを明らかにすべきではなからうか。（元横須賀市助役 井上吉隆）



2014年11月15日、**ヴェルニー・小栗祭国際式典**が開催されました。この式典は、横須賀市が主催する国際式典の一つで、横須賀市発展の基礎となった横須賀製鉄所の創設に貢献した小栗上野介忠順とフランソワ・レオンス・ヴェルニーを偲ぶものです。横須賀市と姉妹都市関係にあるプレスト市、日本の外務省、海上自衛隊、海上保安庁、在日米軍などの代表者が出席された中、今年は世界遺産に登録された富岡製糸場のある群馬県富岡市の市長が出席され、「横須賀製鉄所を通じ、横須賀と深いつながりがあることから、今後、観光や学術研究などの様々な分野で交流を進め、両市の友好関係を深めていきたい」と記したメッセージを、式典において、吉田横須賀市長に手渡しました。

お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「**すまい造りメール**」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2015」A-9歩ZONE版（永久保存版）をダウンロードすることができますので、アクセスしていただき、ご活用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索